

問1 第二次世界大戦後のドイツにおいて、資本主義陣営と社会主義陣営の対立である「冷戦」を象徴し、1989年に崩壊するまでベルリンの街を物理的に分断していた構造物について、その設置の背景や目的として最も適切な説明を選びなさい。（2015年 山口公立

入試 類似）

- |  |   |  |  |
|--|---|--|--|
| 1. 東ドイツから西ベルリンへの人口流出を防ぎ、社会主義体制の経済的・政治的安定を図るため。 | 2. ナチス・ドイツの残党による反乱を阻止するため、連合国軍が共同で市街地を封鎖したため。 | 3. 北大西洋条約機構（NATO）が、東欧諸国からの武力侵攻を直接防ぐための軍事要塞として建設したため。 | 4. ヨーロッパ諸国間での人や物の移動を制限し、ドイツ独自の経済圏を再構築するための関税障壁とするため。 |
|--|---|--|--|

問2 ヨーロッパの国々が経済的・政治的な統合を目指して結成した組織に関する記述として正しいものを選びなさい。地域協力組織の統計において、域内貿易を含めた貿易額が10兆ドル規模と極めて大きく、世界最大級の経済圏を形成している組織はどれですか。（2018年 兵庫公立入試 類似）

- |                |                     |                       |                       |
|----------------|---------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1. EU（ヨーロッパ連合） | 2. ASEAN（東南アジア諸国連合） | 3. USMCA（北米自由貿易協定の後継） | 4. MERCOSUR（南米南部共同市場） |
|----------------|---------------------|-----------------------|-----------------------|

問3 ヨーロッパの北部や東部で広く見られる、小麦やライ麦などの穀物栽培に、豚や牛などの家畜の飼育を組み合わせた農業形式を何といいますか。（2019年 富山県公立入試 類似）

- |         |       |           |       |
|---------|-------|-----------|-------|
| 1. 混合農業 | 2. 酪農 | 3. 地中海式農業 | 4. 移牧 |
|---------|-------|-----------|-------|

問4 日本のエネルギー供給の特徴とその課題について述べた文として、2017年時点の発電構成の状況を踏まえたものとして最も適切なものはどれですか。（2022年 茨城県公立入試 類似）

- |  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| 1. 火力発電が全発電量の約7割以上を占めているが、その燃料となる化石燃料の多くを海外からの輸入に依存している。 | 2. フランスと同様に原子力発電を主な電源としており、全発電量の約7割を賄うことで高いエネルギー自給率を維持している。 | 3. 環太平洋造山帯に位置する利点を活かして地熱発電を主力としており、再生可能エネルギーのみで電力を自給している。 | 4. 広大な国土を活かした風力発電が全発電量の半数を超えており、余った電力を近隣諸国へ輸出している。 |
|--|---|---|--|

問5 ヨーロッパ各国の発電状況をまとめた資料において、ノルウェーは総発電量1,353億kWhのうち、1,264億kWhが水力による発電となっています。ノルウェーにおいて、これほどまでに水力発電の割合が高い理由として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 長崎公立入試 類似）

- |  |  |  |  |
|--|--|--|--|
| 1. 偏西風の影響による豊富な降水量と、山岳地帯の急峻な地形を活かすことができるため | 2. 広大な平坦な土地が広がっており、年間を通じて安定した強い風を受けられることができるため | 3. バルト海沿岸の低地を利用し、大規模なバイオマス燃料の生産が行われているため | 4. 北海油田から産出される原油を直接利用した、効率的な火力発電が主流であるため |
|--|--|--|--|

問6 2020年の統計において、生産量1位がスペイン、2位がイタリア、3位がチュニジアとなっている農産物はどれですか。この農産物は地中海沿岸地域で古くから栽培されています。（2025年 青森県公立入試 類似）

- |         |        |       |         |
|---------|--------|-------|---------|
| 1. オリーブ | 2. トマト | 3. 小麦 | 4. オレンジ |
|---------|--------|-------|---------|

問7 フランスの発電電力量の統計において、約7割という極めて高い割合を占め、同国のエネルギー供給の柱となっている発電方法はどれですか。（2026年 愛知公立入試 類似）

- |          |         |         |         |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 原子力発電 | 2. 火力発電 | 3. 水力発電 | 4. 風力発電 |
|----------|---------|---------|---------|

問8 ヨーロッパ連合（EU）の多くの加盟国で導入されている、経済統合を象徴する共通通貨の名称として適切なものはどれですか。（2026年 山口公立入試 類似）

- |      |        |         |        |
|------|--------|---------|--------|
| 1. 円 | 2. 米ドル | 3. 英ポンド | 4. ユーロ |
|------|--------|---------|--------|

問9 ヨーロッパの北部や東部の統計において、穀物栽培と家畜の飼育が組み合わされている「混合農業」の仕組みや特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2019年 富山県公立入試 類似）

- |  |  |  |   |
|--|--|--|---|
| 1. 家畜の糞尿を肥料として耕地に還元し、穀物栽培と家畜の飼育を循環させて行う。 | 2. 夏の乾燥に強いオリーブやブドウなどの果樹栽培と、冬の降水を利用した小麦栽培を組み合わせる。 | 3. 大都市への出荷を目的として、冷涼な気候を活かし乳牛の飼育と乳製品の加工に特化する。 | 4. 季節による気温の変化に合わせて、家畜を夏は高地の牧草地へ、冬はふもとへの平地へと移動させる。 |
|--|--|--|---|

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 東ドイツから西ベルリンへの人口流出を防ぎ、社会主義体制の経済的・政治的安定を図るため。	第二次世界大戦後、ソ連の占領下にあった東ドイツの中に位置するベルリンも東西に分割されました。東側から自由やより良い経済環境を求めて西側へ流出する人々が急増したため、東ドイツ政府は1961年に街を分断する壁を建設しました。この壁は、東西対立（冷戦）の象徴として知られるようになりました。
問2	<b>答え 1</b> EU（ヨーロッパ連合）	ヨーロッパ諸国が一つにまとまることで、アメリカや中国に対抗できる経済力を維持しようと結成されました。加盟国間では関税が撤廃されているため、域内の貿易額が非常に大きいのが特徴です。また、共通通貨ユーロの導入や国境検査の廃止など、経済のみならず政治的な統合も進められています。
問3	<b>答え 1</b> 混合農業	ヨーロッパでは地域ごとの気候や土壌に適した農業が行われています。アルプス山脈より北側の平原部を中心に行われているこの形式は、主食となる穀物の生産と、食肉用の家畜の飼育を効率的に組み合わせることで、食料生産の安定を図ったものです。
問4	<b>答え 1</b> 火力発電が全発電量の約7割以上を占めているが、その燃料となる化石燃料の多くを海外からの輸入に依存している。	日本の発電構成は火力発電への依存が大きく、その燃料となる石炭・石油・天然ガスといった化石燃料のほとんどを海外からの輸入に頼っています。このため、国際情勢の変化が日本のエネルギー供給や電気料金に直接影響を及ぼしやすいという課題を抱えています。フランスが原子力、日本が火力に頼っているという対比を理解することが重要です。
問5	<b>答え 1</b> 偏西風の影響による豊富な降水量と、山岳地帯の急峻な地形を活かすことができるため	ノルウェーの発電の特徴は、地理的条件と密接に関係しています。スカンディナビア山脈による急峻な地形と、偏西風がもたらす湿った空気による豊富な降水・降雪が、大規模なダムや水力発電所の建設に適しています。なお、ノルウェーは北海油田を持つ産油国でもありますが、自国内の電力供給については再生可能エネルギーである水力に大きく依存しています。
問6	<b>答え 1</b> オリーブ	スペインやイタリアといった南ヨーロッパの国々に加え、北アフリカのチュニジアが上位にランクインしている点が決定的な判断材料となります。これらの国々が属する地中海性気候の地域では、夏の乾燥に強い樹木作物の栽培が適しており、オリーブはその代表格です。選択肢のトマトや小麦、オレンジも同地域で生産されますが、チュニジアが世界3位に入るとい統計的特徴はオリーブに固有のものです。
問7	<b>答え 1</b> 原子力発電	フランスは1970年代の石油危機を契機に、エネルギーの自給率向上を目指してこの発電方法を国策として推進してきました。現在も全発電量の約70パーセントをこの発電方法が担っており、世界的に見ても非常に高い水準にあります。火力発電のように化石燃料を燃やさないため、発電過程における環境負荷の低減という側面も持っています。
問8	<b>答え 4</b> ユーロ	ヨーロッパ連合（EU）は、域内での経済活動を活発にするために市場の統合を進めており、その一環として共通通貨であるユーロを導入しました。これにより、国境を越えた商取引において両替の手間や為替リスクが解消されるというメリットがあります。イギリスのポンドのように、EU加盟国（または旧加盟国）であっても独自の通貨を維持している場合もありますが、共通通貨としてはユーロが正解です。
問9	<b>答え 1</b> 家畜の糞尿を肥料として耕地に還元し、穀物栽培と家畜の飼育を循環させて行う。	混合農業は、家畜を飼育することで得られる堆肥を穀物生産の肥料として利用し、生産された穀物の一部を家畜の飼料にするという循環型の仕組みを持っています。これは、もともと土壌があまり肥沃ではなかったヨーロッパ北部などの地域で、土地の力を維持しながら多角的な経営を行うために発展しました。